

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	胃癌
治療法	サイラムザ+アブラキサン併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	サイラムザ	アブラキサン
規格	100mg/10mL 500mg/50mL	100mg
一般名	ラムシルマブ	アルブミン懸濁型パクリタキセル
一日投与量(規定)	8mg/kg	100mg/m <sup>2</sup>
患者情報から算出した一日投与量	<b>400 mg</b>	<b>150.11 mg</b>
実際の投与量	<b>400 mg</b>	<b>150 mg</b>
	<b>8 mg/kg</b>	<b>99.9 mg/m<sup>2</sup></b>
投与日	day1,15	day1,8,15
1クール期間	28日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	治癒切除不能・進行胃癌
推奨経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。経口デカドロンは推奨されません。
禁忌	1. 重篤な骨髄抑制のある患者 2. 本剤の成分又はパクリタキセル、アルブミンに対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 3. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 4. 感染症を合併している患者
中止基準	投与前の好中球数:1500/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数:100,000/mm <sup>3</sup> 未満: 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (Eur J Cancer 91;86-91. 2018の投与基準に準拠)
副作用	<p>●サイラムザ</p> <p><b>重大</b> 1.動脈血栓塞栓症(1.5%)、静脈血栓塞栓症(6.1%) 2.infusion reaction(5.7%) 3.消化管穿孔(1.5%) 4.出血(43.9%) 5.好中球減少症(60.9%)、白血球減少症(27.9%) 6.うつ血性心不全(1.3%) 7.創傷治癒障害(0.6) 8.瘻孔(0.5%) 9.可逆性後白質脳症症候群(0.1%) 10.ネフローゼ症候群(0.3%)、蛋白尿(18.1%) 11.間質性肺疾患(1.7%)</p> <p><b>その他</b> (20%以上)血小板減少症、下痢、腹痛、口内炎、食欲減退、高血圧、疲労/無力症、末梢性浮腫 (5~20%未満)AST(GOT)増加、ALT(GPT)増加、呼吸困難、咳嗽、上気道感染、低アルブミン血症、発疹、皮膚乾燥、手掌・足底発赤知覚不全症候群、頭痛、発熱、体重減少、粘膜の炎症、関節痛 (5%未満)心電図QT延長、咽頭炎、低ナトリウム血症、低リン酸血症、血中クレアチニン増加、敗血症、潮紅、ざ瘡様皮膚炎、眼瞼浮腫、顔面浮腫、流涙増加</p> <p>●アブラキサン</p> <p><b>重大</b> 1.ショック、アナフィラキシー(0.2%) 2.骨髄抑制(白血球減少(49.0%)、好中球減少(59.4%)、貧血[ヘモグロビン減少(30.7%)等]、血小板減少(22.6%)、汎血球減少(0.3%)、</p> <p>3.感染症[敗血症(0.7%)] 4.末梢神経障害(61.5%)、麻痺(0.1%未満) 5.脳神経麻痺(0.2%) 6.間質性肺疾患(1.0%) 7.急性呼吸窮迫症候群(0.1%) 8.心筋梗塞(0.1%未満)、うつ血性心不全(0.2%)、心伝導障害(0.1%未満) 9.脳卒中(0.1%)、肺水腫(0.1%)、肺塞栓(0.2%)、血栓性静脈炎(0.1%)</p> <p>10.難聴(0.1%未満)、耳鳴(0.2%) 11.消化管壊死、消化管潰瘍(0.2%)、消化管穿孔、消化管出血(0.5%) 12.重篤な腸炎(0.2%) 13.腸管閉塞(0.2%)、腸管麻痺 14.肝機能障害(2.2%)、黄疸(0.1%) 15.膵炎(0.1%) 16.急性腎障害(0.3%) 17.中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群 15.播種性血管内凝固症候群(DIC)(0.1%)</p> <p><b>その他</b> (20%以上)脱毛(症)、倦怠感、悪心 (5~20%未満)発疹、味覚異常、無力症、発熱、浮腫、下痢、口内炎、嘔吐、便秘、関節痛、筋肉痛、食欲不振 ALT(GPT)上昇、AST(GOT)上昇</p>
備考	

# サイラムザ+アブラキサン併用療法①⑮ 観察記録

所要時間: 3時間30分

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )	
医師	<b>指示医師:</b> <b>サイラムザ</b> (            mg ) 一般名(ラムシルマブ) <b>アブラキサン</b> (            mg ) 一般名(アルブミン懸濁型パクリタキセル)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加	
	<input type="checkbox"/> 延期・中止			投与 開始時間	調剤
投与指示	本体	側管			
	生食250mL		2時間30分かけて点滴【100mL/hr】		
	生食250mL+サイラムザ 【全量250mLに調製する】 ※フィルター付き点滴ラインを使用		60分かけて点滴【250mL/hr】		
	生食100mL + デキサメタゾン 2 A + ラモセトロン(0.3mg) 1A		30分かけて点滴【200mL/hr】		
	生食100mL+アブラキサン 総液量                    mL		30分かけて点滴 【            mL/h】		
本体終了後抜去					

サイラムザ+アブラキサン併用療法⑧ 観察記録

所要時間: 1時間30分

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )	
医師	指示医師: アブラキサン ( mg ) 一般名(アルブミン懸濁型パクリタキセル)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加	
	□延期・中止			投与開始時間	調剤
投与指示	本体	側管			
	生食250mL		1時間30分かけて点滴 【167mL/hr】		
	生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 2 A		30分かけて点滴 【200mL/hr】		
	生食100mL+アブラキサン 総液量 mL		30分かけて点滴 【 mL/h】		
本体終了後抜去					